

2 週間継続する発熱と突然の視力低下を主訴に来院された 57 歳男性

徳之島徳洲会病院
増田智広 田中良美 小野隆司

【主訴】

視力低下

【現病歴】

来院 20 分前に自宅にてくつろいでいる際に突然、左目の視力が低下したために救急要請、当院搬送となった。

- ・左目の視力については光覚弁認めず
- ・2 週間前より発熱認めていた。
- ・上気道炎症状認めず、消化器症状認めず
- ・疼痛を覚える部位はなし

【既往歴】

平成 10 年 左尿管結石にて当院入院
平成 11 年 高血圧を指摘され降圧薬内服開始
平成 18 年 11 月 心不全にて当院入院。諸検査にて AAE, AR 認めた
平成 19 年 1 月 自己弁温存大動脈基部置換術施行(葉山ハートセンター)
平成 19 年 9 月 不明熱を主訴に名瀬徳洲会病院入院。IE の診断にて加療
平成 19 年 11 月 視力障害を主訴に脳神経外科受診。多発性脳梗塞の診断

【社会歴】

たばこ：20 本×35 年、平成 18 年末より禁煙
さけ：焼酎水割りを毎晩 1~2 杯程度 平成 18 年末よりたしなむ程度に
アレルギー：なし 海外旅行歴：平成 19 年では 1 度もなし

【家族歴】

心臓を患った血縁の人物については記憶にない

【来院時 vital sign】

Cons: alert, BT: 38.6, BP:140/80, HR: 85 regular, SpO2: 98, RR: 16

以下、来院後の経過及び考察についてはスライドにて発表とさせていただきます。